



京広美だより

きょうこうび

令和8年10月(276号)

発行元

京都府広告美術協同組合

情報文化委員会

TEL 075-313-0800

FAX 075-313-0810

第43回 屋外広告物安全キャンペーン『大映通り商店街』

令和8年9月8日(火)午前10時より、京都市右京区の大映通り商店街において、「第43回屋外広告物安全キャンペーン」を実施しました。

当日は朝からあいにくの雨模様となりましたが、共催の京都府から5名、府下市町村から12名、組合員・賛助会員・関係団体から21名、総勢38名の参加がありました。

はじめに、市原理事長の挨拶に続き、大映通り商店街の御館会長よりご挨拶をいただきました。その後、石原副理事長より、屋外広告物の安全点検における注意事項や点検のポイントについて説明が行われました。

参加者は4グループに分かれ、商店街を4つのエリアに分担して、看板の本体や取付・支持部材の、腐食・変形・破損などの状況を確認しながら点検作業を行いました。

歴史のある商店街のため、全体的に長期間設置されている看板も多く、経年劣化が進んでいるものも確認されましたので、この先の安全管理には定期的な点検が必要であり、特に注意を要すると思われる看板も複数確認されました。

これらの点検結果については、当組合で取りまとめたうえで、後日、大映通り商店街へ報告する予定です。

午前11時頃にはすべてのグループが集合場所へ戻り、京都府の足立氏、当組合児玉理事より総評をいただきました。



雨天の中での活動に加え、車両の往来も多い環境での点検となりましたが、トラブルや体調不良等もなく、参加者全員が無事に点検作業を終えることができました。

今回のキャンペーンを通じて、屋外広告物の適正な維持管理と定期的な安全点検の重要性を改めて確認するとともに、行政・業界・地域が連携して安全なまちづくりに取り組む、大変有意義な機会となりました。

広告景観委員長 鈴木育子



点検概要

商店街振興組合加盟店52店舗に加えて
加盟店以外の店舗看板も点検し、
定期点検が必要な看板は35店舗でした。

